

地域社会の持続的発展



PPP・PFI事業へのプロジェクトファイナンス

PPP・PFI事業への取り組み

2002年4月、第1号案件として地元桑名市におけるPFI事業「桑名市図書館等複合公共施設特定事業」にレンダーとして参画しました。専任担当者を1名配置し、地域活性化に資する事業として、PPP・PFI※業務を推進。三重から愛知、東海そして全国へと組みエリアを拡大し、PFI事業への融資参画実績を積み重ねています。

みえ公民連携共創プラットフォームの設立

2017年11月、三重県、県内全市町、三重大学からの支援を得て「みえ公民連携共創プラットフォーム」を設立しました。

PPP・PFI事業への融資参画を通して積み重ねてきた知識やネットワークを三重県内のお客さまへ還元するべく、年2回程度のセミナー開催や自治体が検討されている個別の公共事業へのPPP・PFI手法導入への支援を行っています。

また地元企業におけるPPP・PFI事業への参画体制の構築も支援できるように、ノウハウの習得や異業種・大手企業とのネットワークづくりの場も提供しています。

全国のPPP・PFI事業に参画	
所在地	件数
愛知	17件
東京	8件
大阪	6件
三重	5件
神奈川	4件
静岡ほか	8件

累計取組件数 **48件 581億円**

うち
アレンジャー案件 **22件 約210億円**

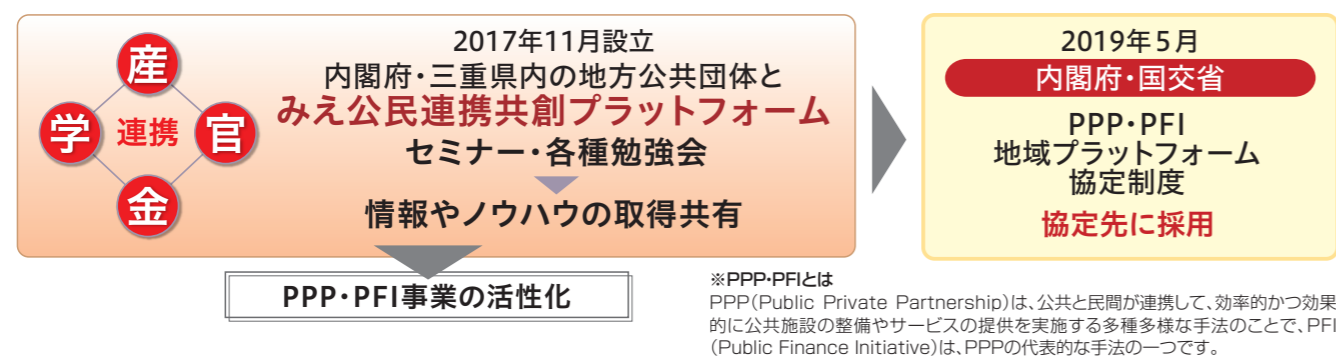
(2020年6月現在)

PPP・PFI地域プラットフォーム協定制度の締結

2019年5月、「みえ公民連携共創プラットフォーム」を三重県との共同運営とし、内閣府・国土交通省と「PPP・PFI地域プラットフォーム協定制度」を締結しました。

協定制度にもとづき、2019年8月開催のセミナーでは、内閣府民間資金等活用事業推進室の方を講師として招き、「PPP・PFI事業の最近の動向」と題して、地方におけるPFI事業の導入事例や地域企業参画の必要性についてご講演いただきました。

「PPP・PFI事業の必要性を感じている」という自治体や、「PPP・PFI事業に興味がある」という地元企業からの声は着実に増えてきており、引き続き、プラットフォームの活動を通して、地元事業の創出に貢献していきます。



百五SDGs私募債

百五SDGs私募債(企業応援型・寄付型)は、SDGsの達成に向けた事業に取り組む企業を支援し、地域の皆さまとともに、持続可能な社会の実現に向けた活動を進めていくことを目的とした商品です。

なかでも「百五SDGs私募債(寄付型)」は、寄付を通じて地域社会への貢献ニーズがある企業様が私募債を発行し、当行が受領する手数料の一部を発行企業様が指定する教育機関、福祉機関、地方公共団体、公益法人などへ寄付を

行う商品で、地域企業の皆さまに大変ご好評いただいています。

百五SDGs私募債(寄付型)データ(2019年7月~2020年3月)	
累計件数	101件
寄付額	9,416千円
寄贈先	小学校・中学校・高校・社会福祉施設など
寄贈品	図書・テント・パソコン・プリンターなど

金融教育

エコノミクス甲子園

2011年から毎年、認定NPO法人金融知力普及協会と当行の共催で全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」の三重大会を開催しています。

本大会は、金融経済情勢の多様化にともない金融知力の普及が必要とされているなか、高校生に楽しみながら金融経済を学ぶきっかけを提供することを目的としています。2019年12月に開催された当行で9回目となる本大会では、県内8校の高校から、23チーム46名の高校生が参加し、全国大会の出場をめざして金融知力を競いました。

エコノミクス甲子園開催データ(2011~2019年)	
開催数	9回
参加校	74校
参加者数	235チーム 470名



ボランティア活動

ユニセフ「外国コイン募金」・ユネスコ「書きそんじハガキ・キャンペーン」への協力

開発途上国の子どもたちを対象とした社会開発を行っているUNICEF(国連児童基金)の活動に賛同し、2007年4月から、当行の19か店にユニセフ「外国コイン募金」を設置しています。ご来店される沢山のお客さまから寄せられた外国コインは、年に1度、当行本部で回収し、日本ユニセフ協会へ定期的に届けています。

また、三重県ユネスコ連絡協議会が実施する「書きそんじハガキ・キャンペーン」などにも参加することで、世界中の子どもたちの教育、衛生、栄養などの支援活動に協力しています。



スポーツ振興への取り組み



トップアスリートの活躍を通じた豊かな地域社会の実現へ

46年ぶりに三重県で開催が予定されている国民体育大会(三重とこわか国体)に向け、スポーツを通じた地域振興への期待が高まっています。

そうしたなか当行は、地域のスポーツに対する機運をさらに高めるため、2018年から国内外で活躍するトップアスリートを採用しています。

現在、柔道男子100kg超級の国際大会などで活躍している原沢久喜選手など、5名のトップアスリートが国内外で活躍しています。

トップアスリートの活躍を通じ、地域の皆さまと喜びを分かち合うことで、豊かな地域社会の実現に貢献したいと考えています。

県内スポーツへの協賛・支援

地元スポーツチームを応援し、地域の活性化につながることを目的に、サッカーJFLの鈴鹿ポイントゲッターズをスポンサーとしてバックアップし、当行冠試合を開催しています。

また、小学生からご高齢の方まで幅広い世代に参加いただく卓球大会に協賛するなど、今後も地元のスポーツ振興に貢献していきたいと考えています。

